

大腸内視鏡検査説明同意書

目的

- ・ 大腸 (肛門から回盲部まで)を内視鏡で観察します。
- ・ 大腸癌を発見することができます。また多くの大腸癌はポリープ (腺腫) から発生するため、ポリープ切除で癌を未然に防ぐことができますといわれています。
- ・ ポリープがあればできるだけ切除します。(大きくて特殊な形の場合は、改めて入院での治療をお勧めし、病院を紹介致します。)
- ・ いろいろな病変の確定診断の為には生検による組織診断が必要です。
- ・ 大腸癌検診(便潜血)の2次検査では全大腸内視鏡検査が推奨されています。

検査に伴う危険性・偶発症

- ・ 下剤によるもの：アレルギー、嘔吐、まれに腸閉塞を起こす可能性があります。
- ・ 内視鏡によるもの：挿入時 お腹のはりや疼痛があることがあります。
- ・ 組織検査やポリープ切除を行った場合に出血のリスクがあります。

検査予定日から2、3日は飲酒機会がないようにお願いします。

(概算すると1%未満の確率ですが数日後に再出血する事があります。その他穿孔が0.1%未満、重篤な合併症は内視鏡学会の報告で0.0005%程度とされています。)

点滴の麻酔で、うとうとしながら検査を受けることが可能です。

- 1) 検査後1時間前後 休憩が必要となります。
- 2) 麻酔当日は車、バイク、自転車などの運転を控えてください。
- 3) 付き添いが望ましいですが、無理な場合は連絡のつくかたの連絡先を教えてください、必要時に連絡させて頂く場合があります。
- 4) 麻酔薬による呼吸、循環障害やアレルギーの可能性があるためリスクが高いと判断した方は麻酔をお断りする場合があります。

費用に関して・・・概算、目安

2割負担の方は下記費用の3分の2、1割負担の方は3分の1になります。

	観察のみ	生検検査	ポリープ切除 (日帰り手術)
3割負担	6000 円前後	1 万円前後	2 万円前後

* 受診や前投薬の費用を含んでおりません。

* ポリープ切除の方は手術費用を保険申請できることがあります。

* ドック (自費) の方は 25000 円前後ご用意ください。